

臨時休校が明け、いよいよ学校再開される！！

-エクシードに生徒の元気な声と笑顔が戻ってきた-

新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校がやっと終わりました。小中高とも1日から授業や部活動を段階的に通常に戻していくのですが、分散登校や夏休みの期間が各市でまちまちです。詳しくは下の表をご覧ください。

これから学習の遅れを取り戻すため、各学校の授業がスピードUpすることが予想されます。エクシードでは映像授業・オンライン授業などで学校の先行授業を実施してきましたが、皆さんどうでしたか？

私たちも初めてのことであり、戸惑いはありましたが、研修を重ね何とかやり通すことができました。

塾生の皆さんには、臨時休校期間塾でやったことが身についているかどうかを見極めるため、「エクシード中間テスト」を実施いたします。

「エクシード中間テスト」は英語・数学・国語の3科目で行います。理科・社会は各学校により指導内容や単元が違いため、今回は実施しません。テスト範囲は例年の中間試験の範囲で行います。また詳細は追って連絡します。

	加古川市	高砂市
分散登校	12日まで	実施せず
全面再開	15日から	3日から
夏休み	8/1~16日(16日間)	8/8~16日(9日間)
中学校の部活動	分散登校中は1日1時間のみ	8日再開。21日まで週3日
学校行事	運動会・音楽会中止	運動会は規模縮小を検討

ZOOMによるオンライン授業を終えて



【オンライン授業の良かった点】

自宅にいながら授業が受けられる

- ・家から出なくてもきちんと授業を受けることができる。今の時期だからこそ安心できる。
- ・休校中でも授業を進めることができる。
- ・休みの間でも勉強をする習慣が継続してつけられること
- ・この状況の中でも学習指導ができる。

- ・外出できない状況でも授業が出来て、生徒とコミュニケーションが取れる
- ・生徒が塾に来なくても授業が受けられる。
- ・人の出入りが少なくて済むため、感染を防ぐことができる。
- ・自粛中でも勉強の時間をとることができる。
- ・生徒が必然的に勉強する時間を作れる。



集中して取り組める

- ・先生に見られているという意識が高まるため、いつもの通常よりも集中して取り組むことが出来る。
- ・生徒同士が喋りすぎて授業進行が遅れることが少ない。
- ・通常授業より時間が短いため、生徒が集中して取り組んでいる。
- ・1対2なので、生徒同士も互いの存在を意識して勉強できると思う。
- ・生徒がいつもより集中していると思う

コミュニケーション面を補える

- ・画面越しでも生徒が元気かどうか確認できる
- ・必ず意思表示をしないといけないので、コミュニケーションが苦手な子でも取れる。
- ・楽しい雰囲気での授業ができる
- ・友達と顔を合わせることが出来るため気晴らしにもなる。
- ・その人に合った授業速度でできる。



【オンライン授業の改良点】

通信環境面からくる要因

- ・接続環境が整っていないと大変不便。
- ・回線が悪い生徒がいて、コミュニケーションがとりづらくなる時がある。
- ・画面がよく見えない子もいる。
- ・1人の生徒に不具合があるとき、もう1人への生徒への対応が難しいこと。
- ・生徒によっては通信環境が悪く、講師の声が聞き取りづらいなど、通常の授業に比べ非効率になってしまう。
- ・通信環境が悪い場合、授業がやりにくい。
- ・回線の問題などで時間をとってしまうことがある。

生徒の様子を間近で見られない⇒進捗状況が把握しにくい、効率が普段より下がる

- ・先生が横についていないため、勉強のできない生徒は理解度があまい。
- ・コミュニケーションがとりにくい(生徒が静かになる)、
- ・タイミングが被った時の対応が遅れる
- ・説明がしにくい。

- どこが間違っているのか、生徒から聞かないと把握できないときが多い。
- 本当にできているのか、どんな間違いをしているのかが把握しにくい。
- 生徒の解く様子をリアルタイムで見れないので、どこで躓くかがわかりにくい。
- 生徒がどのように間違えたのか、などテキストが見えないため解説しづらい
- 教えにくい単元では、1回に進める量が少なくなる
- 対面授業に比べると、生徒の手元は映るもののどんな問題に迷っているのかを一人一人見てアドバイスすることが出来ないため、解説にいつもより時間がかかる。
- 進捗状況がわかりにくい。
- 解いている際に他の生徒に対する関係のない会話まで耳に入ってしまう。

【対面授業と比べてどうか】

- 最初は違和感があったが、他の生徒も先生も画面越しにいるので、通常と特に変わらない。(生徒より)
- 対面のほうが1対1を確立できるため、生徒にとってはやりやすいのかなと思う。
- 学習の遅れを取り戻せる。
- 慣れてくればオンラインでも授業は行えるが、満足のいく授業がしにくい
- 理解できたかできてないかの反応が伺いにくい
- 話した言葉が伝わりにくいとを感じる
- メリットもあると思うが、対面でした方が生徒の理解度がわかりやすいと思う。
- このような臨機ではかなり便利。
- 生徒の反応がわかりにくい。
- 対面授業のほうがやりやすいが、健康第一なので当面はオンライン授業を充実させるほうがいいのではないかな。
- 画面越しでは他の生徒もいるため、細かい部分まで入り込んで説明することは少し難しいが、集中力は普段より良い気がする。

オンライン導入直後は、つながらない、画面が途中で切れる、画像が出ないなどのトラブルはありましたが、問題が解消されてからは、比較的順調に進んできました。通常授業再開後もオンラインで学びたいという声がある程度出てきています。

中3生保護者会の開催

6月14日(日) 午後6時30分～8時30分

例年は4月に中3全体保護者会で本年度の入試報告をさせていただいておりましたが、本年は新型コロナウイルスの影響を考慮し、ZOOMにて実施させていただきます。

今回は下記の内容についてお話をさせていただきます。

- ① 入試報告(受験結果・公立高校の問題傾向など)
- ② 複数志願制と特色選抜制について
- ③ 内申点のつけかた
- ④ 公立高校・私立高校の志望校の選定のしかた
- ⑤ 受験を控えての勉強の取り組み(土曜高校入試特別講座など)
- ⑥ 就学支援金制度の改革について
- ⑦ 大学入試改革について

☆2020年度高校入試の県平均とエクシード生との比較

先日県教委より本年度公立高校の各科目別平均点が発表されましたので、エクシードの受験生との比較を表にしました。

例年ではエクシードの受験生は県の平均を5点ぐらい上回っていたのですが、今年は約7ポイントも上回っており、過去最高の結果を出してくれました。

みんなよく頑張った！高校受験生の頑張りを讃えたいと思います。

	国語	社会	数学	理科	英語	平均	5科目平均
県平均	48.5	53.4	52.3	55.1	54.2	263.5	52.7
エクシード	52.2	58.9	62.1	63.4	59.3	296.0	59.2

《まとめ》

- ① 数学・理科の理系科目が想像以上に簡単になり、国語・社会・英語の文系科目の難易度が増した。これにより各科目の平均点のバラツキがなくなり平準化してきた。
- ② 大きな改革点
 - 英語のリスニングが1回しか流されない。(従来は2回)
 - 下から選べる選択問題の解答が複数になった(従来は解答は一つ)
 - どの科目においても問題文がかなり長くなり、読みとるスピードと読解力が必要とされた。

“緊急事態宣言”にエクシードはどう対応したか。

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大が進む中で、3月前半の3/2～14日までの2週間は受験を控えた中3生・高3生以外は休校とする。
- ② 3/16 から授業再開
 - 4/8 緊急事態宣言発出
- ③ 4/7～25日まで休校。この間 ZOOM 研修と家庭訪問
- ④ 4/26 から授業再開。映像授業と ZOOM による双方向によるオンライン映像授業と分散通塾開始
- ⑤ 5/1～6 は午前9時から ZOOM 授業開始
- ⑥ 5/7 分散授業再開。以後 ZOOM 授業と分散授業並行して行う。
- ⑦ ZOOM 授業と分散授業を段階的に終了時間を遅らせる
 - ほぼ振替授業は終え、現在に至る